

安心をお届けします

みなさまの保険情報

INSURANCE INFORMATION

株式会社サポート

TOPIC

損害保険リテラシー（知識・理解力）の向上に努めましょう！

2022年4月から成年年齢が18歳となり保険契約可能に!!

2022年4月1日から民法上の成年年齢が18歳に引き下げられました。高校在学中から親権者の同意を得ずに保険契約をすることが可能となる一方で、未成年者取消権を行使できなくなります。こうした環境変化を機に、成年年齢の対象となる人たちをはじめ幅広い年代の人たちも、損害保険リテラシー（知識・理解力）の向上に努めてみましょう。



損害保険協会ではさまざまな保険教育ツールを作成しています！

日本損害保険協会では、18歳を迎える人たちだけでなく幅広い年代を対象に、損害保険リテラシーの習得につながる取り組みを進めています。各年代別の主な教育ツールは次のようなものです。

【ぼうさいダック】 子どもたちが実際に身体を動かし、声を出して遊びながら学べるカードゲームです。カードには、防災や日常の危険から身を守るだけでなく、挨拶やマナーといった日常の習慣について学べるものも含まれています。

【ぼうさい探検隊】 子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な防災・安全教育プログラムです。

【明るい未来へTRY! ～リスクと備え～】 高校生や大学生が「やってみたい!」と思う事柄に潜むリスクを紹介する冊子（動画版あり）です。そのリスクに対処する損害保険について短時間かつ主体的・対話的で深い学びを実現した形式で学べます。

【そんぼのホント】 高校生や大学生、新社会人等を対象とした損害保険入門冊子です。海外旅行や自動車の運転、一人暮らしといった若年層にとってより身近な場面別に役立つ損害保険について分かりやすく解説しています。



そんぼ学習ナビトップ画面のQRコード

【安心・安全な生活に向けてリスクから高齢者を守る3つのポイント】

高齢者の安心・安全な生活に向けて、主に3つのポイント（交通安全、災害避難、契約トラブル防止）でまとめた高齢者向けの冊子です。

これらのツールは日本損害保険協会のウェブサイト（そんぼ学習ナビ：<https://www.sonpo.or.jp/education/>）で閲覧でき、誰でも活用することができます。地域の保険代理店に尋ねてみてもよいでしょう。家族で金融経済教育の意識を高める機会にしてみたいはいかがでしょうか。



情報紙に関するアンケートご協力をお願い!

読者のみなさまのご意見をお聞かせ下さい。

<https://nihondaikyo-pr.jp>



「成年年齢が引き下げになるとどうなる？」 保険や携帯電話、一人暮らし部屋の賃貸、クレジットカードなどの契約が自分だけで行えるようになるため、契約トラブルに注意が必要です。